

# さんさん、きらきら 第26号

光り、輝く、チーム南陽小 ～考えよう、語り合おう～

令和5年1月27日  
長崎市立南陽小学校  
学校だより  
校長 寺田 成広

## 雪の日の対応

25日は予報どおりの積雪と冷え込みでした。学校周辺の積雪量はそれほど多くなかったため、通常登校としました。前日に安心メールで配信したように、雪の積もり具合は場所によってかなり違いますし、平地と斜面では歩きにくさも変わってきますので、登校は保護者の皆様の判断としました。ご理解ご協力いただきありがとうございました。(登校を回避した子どもたちは全体の51%)積雪が予想される日の対応は、今後も今回のかたちをとりたいと考えています。

さて、幸い登校できた子どもたちは、寒さも気にせず早速雪遊びを楽しんでいました。運動場で雪玉を作っていた6年生は、「今日の雪はサラサラしていてまとまりにくい。でも雪は嬉しい。」と笑顔で話していました。大人にはたくさんの心配事をもたらす雪も、長崎の子どもたちにとっては、天からの冬のプレゼントと言えるでしょう。



<他の画像はこちら ⇒ [雪の日の朝 | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)>

## 外部講師を招いての学び

25日は、5年生の「フラワーアレンジメント教室」を予定していました。

講師を務めてくださる『長崎県花き振興協議会』の野川生花店様、いち花様の来校の可否と、子どもたちの登校を案じましたが、来校は可能であることと予定人数内ならば他学年が参加してもよいとの返事をいただき、急遽6年生も入っての実施でした。

美しい花を何種類も用意され、分かりやすく手順を説明してくださいました。外部の方を招くと毎回感じるのですが、プロ、専門家の方の話は正しい知識と豊かなキャリアをベースとしているので、「なるほど。」とか、「私もできそうだ。」などを感じさせてくれます。また、プロから褒められる、認めてもらうのは喜びも大きいと思います。実際に子どもたちは、手順にそって作業するほど花々がいつそう華やかさを増していくことを感じて、楽しく意欲的に活動していました。中には、「君はすぐ花屋になれるほどセンスがある。」との褒め言葉をいただいた子もいました。

プレゼント用としてつくったフラワーアレンジメントでしたので、送られた方はさぞ喜ばれたことと思います。



<他の画像はこちら ⇒ [フラワーアレンジメント教室 | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)>

今年度は、残りの日々で、「3年高齢者疑似体験学習」、「5、6年メディア講習会」を実施する予定です。ここでも外部講師の方のお話を聞き、貴重な学びができることと期待しています。